

学習指導要領		都立清瀬高校 学カスタンダード
(4) 諸 地 域 世 界 の 結 合 と 変 容	<p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p> <p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19 世紀のアジアの特質とその中での日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>[19 世紀のヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の領土拡大の過程や南北戦争後の経済的発展について理解する。 <p>[世界市場の形成とヨーロッパ諸国のアジア進出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス自由貿易と、保護貿易国が対抗して市場の拡大を目指し諸地域に進出した結果、アジア諸国は伝統的な手工業や農村経済が打撃を受け、国際的分業体制に組み込まれていったことを知る。 <p>[オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジアにおいてワッハーブ派やウラービー運動、バーブ運動に見られるイスラーム改革運動やアラブ民族運動が起きたことについて理解する。 ・インドの植民地化を進める中で、イギリス東アジア会社の性格が変化していったことを理解する。 ・東南アジア諸地域でヨーロッパ諸国が大規模なプランテーション経営を展開したこととその影響を理解する。 ・アヘン戦争に至るイギリスの対中国政策の推移、南京条約・北京条約の内容について理解する。 ・太平天国の運動の民族主義的性格について理解するとともに、その後に展開された洋務運動の限界について理解する。 ・明治維新により近代化を進めた日本の対外政策について理解する。
(5) 地 球 世 界 の 到 来	<p>ア 帝国主義と社会の変容 科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19 世紀後期から 20 世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>[科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19 世紀後期の科学技術の発達が、欧米諸国で第二次産業革命の進展を促し、企業による寡占化と資本の集中・集積が進んだことを知る。

学習指導要領	都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現</p> <p>総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>[帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米各国の帝国主義政策と国内政策を理解するとともに、欧米諸国間の世界分割競争の経緯と結果を理解する。 ・欧米諸国の支配が強まる中で起きた、辛亥革命、国民会議派の形成、ドズー運動、青年トルコ革命、イラン立憲革命などの近代化を目指した運動の経緯を理解する。 ・日清戦争から日露戦争に至る経緯について、日本とロシアの対立の背景から理解する。 <p>[国際的な移民の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界規模での移民が増加した背景を理解する。 <p>[第一次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦中の戦時外交、総力戦における統制経済について理解する。 <p>[ロシア革命とソヴィエト連邦の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対ソ干渉戦争とソヴィエト政権の経済政策について理解する。 <p>[大衆社会の出現とファシズム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ・ワシントン体制下で進んだ国際協調の流れを理解する。 ・1920年代のアメリカ合衆国の「永遠の繁栄」と呼ばれた政治・経済の成熟を理解する。 ・イタリアでムッソリーニが一党独裁体制を確立していった過程を理解する。 ・ソヴィエト連邦でスターリンが一国社会主義論を唱え、独裁権を握っていった過程を理解する。 <p>[第一次世界大戦後のアジア・アフリカの情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国における国民党と共産党の対立、インドにおける国民会議派と全インド=ムスリム連盟の対立について理解する。

学習指導要領	都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>ウ 米ソ冷戦と第三世界</p> <p>米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p>	<p>[世界恐慌とその後の世界情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌による各国の経済的な打撃を具体的な指標から理解するとともに、アメリカ合衆国のニューディール政策の進展について理解する。 満州事変から日中戦争に至る過程やナチス=ドイツが独裁権を確立していった過程を理解する。 スターリンの独裁体制が確立していった時期のソヴィエト連邦の外交政策について理解する。 <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> スペイン内戦から第二次世界大戦勃発前までのヨーロッパの国際情勢について理解する。 ヨーロッパにおけるドイツの、アジア・太平洋地域における日本の勢力拡大を地図上で理解する。 第二次世界大戦中に行われた首脳会談の内容について理解する。 <p>[米ソ両陣営による冷戦の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際連盟に代わり国際連合が結成され、また敗戦国の処理が進められる中で戦後の世界秩序が形成されていったことを知る。 第二次世界大戦後、東欧諸国に社会主義政権が誕生しソヴィエト連邦の影響力が拡大したのに対し、アメリカ合衆国が西欧諸国への経済援助を強化して「対ソ封じ込め」を図ったことを知る。 米ソ両国が核兵器の力を背景にそれぞれ経済協力と集団安全保障の体制を樹立して自陣営の強化を図る中で、対立関係が非ヨーロッパ世界にも拡大し、朝鮮戦争など様々な紛争を引き起こしたことを知る。 <p>[戦後の復興と経済発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> 西ヨーロッパ統合の流れを理解する。 日本が朝鮮特需で経済復興を果たし、ソ連との国交回復と国際連合加盟で国際社会への復帰を果たした過程を理解する。

学習指導要領	都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>エ グローバル化した世界と日本</p> <p>市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。</p>	<p>[アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジア・南アジア・西アジア諸国の独立の過程とアフリカ諸国の独立が進み、1960年が「アフリカの年」と呼ばれたことを理解する。 ・平和五原則の提唱、アジア=アフリカ会議や非同盟諸国首脳会議の開催がもつ歴史的意義を理解する。 ・アジア・アフリカの新興独立国の多くが慢性的な貧困に苦しみ、国際機関や欧米諸国の援助に依存せざるを得なかったことを理解する。 <p>[平和共存の模索]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キューバ危機を契機に米ソの緊張緩和の方向が現れ、核兵器の拡大を制限する交渉が始まったことを理解する。 ・1950年代の「スターリン批判」やハンガリー事件、1960年代の「プラハの春」をめぐる動きなど、東側陣営の変化を理解する。 ・中ソ対立の推移とプロレタリア文化大革命後の中国の変化を理解する。 ・ヴェトナム戦争の経過と結果、アメリカ合衆国の経済に与えた影響を理解する。 <p>[市場経済のグローバル化とアジア経済の成長]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の貿易収支が赤字になった背景を理解する。 ・第四次中東戦争の勃発と第一次石油危機の発生を理解する。 ・先進工業国で、省エネ対策、代替エネルギーの開発、先進技術開発が進む中で、貿易摩擦が激化したことを理解する。 <p>[冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国における改革・開放路線の推進と天安門事件、ヴェトナムにおけるドイ=モイ政策の推進を理解する。 ・ソヴィエト連邦のペレストロイカが東欧諸国の民主化に与えた影響を理解する。 ・東欧諸国の民主化、冷戦の終結、ソヴィエト連邦の

学習指導要領	都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題</p> <p>地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>解体の一連の歴史的過程を理解する。</p> <p>[地域統合の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> • EU の取組を EC と比較し、EU の特徴を理解する。 <p>[地球的諸課題をめぐる問題]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 旧ユーゴスラヴィア内戦の原因と経過、結果を理解する。 • 2001 年に発生した同時多発テロ事件とその後の対テロ戦争について理解する。 • 環境や資源・エネルギー問題が発生してきた歴史的背景を理解する。

